

判決後、遺影を前に記者会見する遺族（宇都宮市）
栃木県庁で24日午後4時31分、久保玲撮影



記者会見には、請求が認められた児童の親ら10人が出席。テープルの前には、児童6人の遺影が並んだ。

「防げたはずの事故だと考えていました。母親の責任を明確に認めてもらいたい感謝している。大芽には見守ってくれてありがとうございましたと報告し大森草馬君（当時11歳）の父利夫さん（48歳）は目を赤くした。

鹿沼クレーン車暴走事故と法整備などの経過

2011年

- 4月18日 鹿沼クレーン車暴走事故が発生
- 5月9日 宇都宮地検が元運転手を自動車運転過失致死罪で起訴
- 10月18日 横浜地裁が、トラックを運転中にてんかん発作を起こして少年（当時14歳）を死亡させた運転手と勤務先に対し、約8500万円の損害賠償を命じる判決
- 12月9日 遺族34人がクレーン車の元運転手、母親、元勤務先を相手取り、損害賠償を求めて宇都宮地裁に提訴
- 19日 宇都宮地裁が元運転手に懲役7年の判決。12年1月に確定
- 23日 遺族や亡くなった児童の同級生の父母らが悪質運転の厳罰化を求める署名活動を始める

2012年

- 4月9日 遺族らが約17万人分の署名を法相に提出。最終的に約20万人分に
- 12日 京都市東山区の祇園で、てんかんの発作が原因とみられる軽ワゴン車の暴走により歩行者ら7人が死亡
- 23日 京都府亀岡市で無免許運転の軽乗用車が集団登校中の児童らに突っ込み10人死傷

2013年

- 3月29日 車の運転に支障を及ぼす病気の虚偽申告に罰則を科す道交法改正案を閣議決定
- 4月12日 危険運転致死傷罪の適用拡大の新法案が閣議決定

京都市東山区の祇園（2012年4月）の遺族、奥村順子さん（66）は「母親は、（元運転手が）薬を飲まなければいつ事故を起こすか分からぬことを一番知っていたはずなのに何も手を打つておらず、地裁の判断は当然。責任を重く受け止めほしい」と話した。

交通事故の訴訟に詳しい高山俊吉弁護士（東京弁護士会）の話によると、08年にてんかん発作で意識を失った運転手のトラックにはねられ、中学2年の長男拓也さん（当時14歳）を失った横浜市鶴見区の伊藤真さん（49）も一定

鹿沼暴走 母にも賠償責任

「遺族の思いが裁判所に通じた」。栃木県鹿沼市で児童6人が死亡したクレーン車暴走事故で、元運転手、柴田将人受刑者（28）の母親の賠償責任を認定した24日の宇都宮地裁判決。宇都宮県で記者会見した遺族は涙ながらに「この思いを語った。

【中津成美、猪飼健史、加藤佑輔】

一般的に認められたと
は考えていない」と強調し「あくまでこの事

上での、すぐに運転をやめてほしい」と訴えた。

母親の責任、当然

祇園事故
遺族評価

母親の連帯責任を認定した判決に対し、「てんかん発作が原因」とされた他の事故の遺族からも評価する声が上がった。

京都市東山区の祇園（2012年4月）の遺族、奥村順子さん（66）は「母親は、（元運転手が）薬を飲まなければいつ事故を起こすか分からぬことを一番知っていたはずなのに何も手を打つておらず、地裁の判断は当然。責任を重く受け止めほしい」と話した。

の評価を示す一方、元運転手以外の刑事責任を問えなかつたことを指摘し「交通事故の被害者遺族にとって現在の量刑はあまりに軽く理不尽。社会全体で議論してほしい」と訴えた。【堀智行、飯田憲】

遺族の気持ち反映交通事故の訴訟に詳しい高山俊吉弁護士（東京弁護士会）の話によると、母親の賠償責任が認められたのは、服薬や車の運転で息子と深い関わりを持ち、事故の具体的な危険性を認識していたため、特異なケースといえる。周辺の責任を厳しく問う最

防げたはずの事故

遺族涙「抑止効果に」

ば、この判決を知った原告側の太田うるおう弁護士は「成人した大人の親の監督責任が

故の中で母親が果たした役割について評価しは違法な運転をしてい

た判決。ただし、周囲

見ると、命ってこんな

ものなんだって思うと

つらかった。世の中の

ものなんだって思うと

つらかった。世の中の